

## 入戸野ゼミ 春期募集

入戸野ゼミでは以下の通り、春期ゼミ募集を行います。

1. 全体ゼミ説明会の後、以下の Zoom ミーティングで個別面談を行います。入戸野ゼミへの所属を希望する人は継続して面談を受けてください。

(1) 日時: 4月3日(土) 16:00~16:30

(2) Zoom ミーティング ID: 868 2046 2076

パスワード: 307715

- ※ 上記の時間内に接続してください。面談は個別に実施しますので、Zoom に接続後は、こちらから承認するまで待機室でそのまま待機してください。

2. 選考方法

(1) Zoom での面談の際にエントリーシートを配布します。シート内容を記入後、以下の期日までに提出先のメールアドレス宛に提出してください。

締め切り: 4月5日(月) 17:00

提出先: [nittonoseminar@gmail.com](mailto:nittonoseminar@gmail.com)

(2) 面談とエントリーシートの内容により選考を行います。選考結果については4月6日(火)までに、エントリーシートに記入された連絡先のメールアドレスにお知らせします。

(3) 入ゼミ許可となった人は4月7日(水)の第1回目のゼミから授業へ参加となります。

3. 代表者と連絡先

(1) 手続き等について質問などがある場合は、以下に連絡をください。

代表者: 水野裕斗 [yuto.mizuno.4v@stu.hosei.ac.jp](mailto:yuto.mizuno.4v@stu.hosei.ac.jp)

- ※ 入戸野ゼミの活動内容などについては次ページ以降を参照して下さい。

## 入戸野健ゼミナール

専門分野	情報技術		
教員名	入戸野 健		
代表者名	横山 なつ	水野 裕斗	
H P/F B	http://nittono.jp/		
連絡先	E-mail : <a href="mailto:nittonoseminar@gmail.com">nittonoseminar@gmail.com</a>		
人 員	4年:	男 7名	女 9名
	3年:	男 9名	女 2名
	2年:	男 0名	女 0名
			計 27名
活動日	水曜日4・5限		
場 所	2021年度は未定		
合 宿	年1回		
進級論文	「有・無」などを記入		無
卒業論文	「有・無」などを記入		有
新3年生募集	「有・無」などを記入		有
新2年生募集	「有・無」などを記入		有



## 【ゼミについて】

こんにちは！入戸野ゼミです。入戸野ゼミは学部内では数少ない、情報技術(IT/ICT)のビジネス・社会活用を研究するゼミです。IT や ICT と聞くと専門的で狭い門のように感じますが、このゼミでは私たちに身近な技術——AI や、自動運転、ナノロボット、クラウドなど開発された技術がどのようにビジネス利用されるか、そして社会へもたらす影響も含めてディスカッションをしながら学んでいきます。技術そのものの理論というよりは、活用方法の研究に当たります。

皆さんは色々な授業で、情報技術の進歩によって消える・消えない仕事についての話を耳にしたのではないのでしょうか。とりわけ今年度は新型コロナウイルスの影響でオンライン化を中心にテクノロジーの発展が著しく、変化と適応を求められる年でもあります。既存の発想にとらわれず、私たちが発達した技術と共存していくために、情報技術を使う側の視点を学んでみませんか？

## 【授業の進め方】

今年度は全ての授業をオンラインにて実施しています。毎年夏期休業中に合宿を行っていますが、今年は未実施です。

### <春学期：輪読>

入ゼミ初年度の春学期は輪読を行います。担当箇所を読み込み、発表をし、ディスカッションをすることでテーマへの理解を深めていきます。比較的少人数のゼミであるため発言のハードルが低く、皆が意見を言える環境があります。今年度は「GAFA 四騎士が創り変えた世界」スコット・ギャロウェイ著、を読み、発表を行いました。読む本は初回に新規ゼミ生で話し合っ決めて、毎年異なります。

### <秋学期：プログラミング（仮）>

秋学期にすることはゼミ生と先生で話し合っ決めていますが、ここ数年はプログラミングを学んでいます。

### <四年生：卒論>

自分で決めたテーマを一年かけて学んでいきます。春学期の中間発表後には先生や他のゼミ生とのディスカッションを行い、それを手掛かりに自身のテーマを一層深めた上で秋学期に発表を行います。

## 【ゼミの雰囲気・いいところ】

- ◇ 比較的少人数のゼミです。先輩後輩関係なく発言しやすく、ほんわかした雰囲気です。
- ◇ 学生と先生の話し合いでその年のゼミの方針が決まるため、自分の興味あるテーマを追求することができます。
- ◇ 先生のコメントは的確で、ゼミ生の考えを後押ししてくれます。
- ◇ 多岐にわたる興味を持った生徒が多く、自分にない視座からの意見を得るのが容易です。
- ◇ 情報技術の先生であること・情報系に興味のある生徒が多いことから、オンラインゆえのトラブルがほとんど発生しません。トラブル発生時も先生やゼミ生の協力で解決が早く、トラブルに煩わされることなく授業を受けられます。
- ◇ 基本的にサブゼミはありません。
- ◇ 自分のしたいことや興味を肯定して、背中を押してくれます。みんな優しい！
- ◇ 先述の通り興味への自由度が高いため、足並み揃えて厳格に、というより皆が都合を合わせて快適に研究できるようにしようね～いいところを伸ばしていこうね～という傾向があります。